



# 2011 島事研アクションプラン

島事研では、教育課程にかかわる方法として、今年もアクションプランの発信を行っています。

今回は、その取組の一つとして、「学校財務ウィーク」の活動参加を呼びかけました。皆さんからは、現在行っていることや、あるいは今後取り組んでいこうと思っていること等、それぞれのキャリアに応じた様々な事例や思いを紹介していただくことができました。

(広報「爽」第43号  
をご覧ください。)

## アクションプラン第2弾

# 授業を 観に行こう！

まずは5分間から始めてみましょう。教材備品はどう役に立っているのかなど、財務の取組を進める上で、また学校の中で協働していく上での必要な何かがきっと見えてくるでしょう。



### 〔ある中学校の事例〕

今年度、ある中学校に勤務する事務職員は、科学や機械に強い関心をもつ新規採用の若者です。

ある日、理科の教員から理科室に設置してあるプラネタリウムについて、授業前の実演の手伝いを依頼され、引き続いてその後の授業の見学もさせてもらいました。「備品や教材がどのように使われているのかだけでなく、子どもたちが学習の過程でどのように考え方を身につけ成長していくのか、その一端を見るだけでも何か仕事の役に立つような気がしました」と後で感想を語ってくれました。そして今度は、「電子黒板を使った授業を観に行かせてもらいます」ということです。

『教育課程の実施と学校事務』について、机上で学ぶことも大切ですが、難しく考える前に、このようにまず教育課程の実施現場である授業を観ることから始めてみませんか。今まで見えなかった何かが見えてくるかもしれませんよ。